

## ◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：和光市チームSDGs

26A-30

代表者：代表 関口 ひさ子

URL : <https://sdgswako.jimdofree.com>

### 1. 活動が必要とされた状況

和光市チームSDGs畑活部は「美しい地球環境を子どもたちに残したい」と考えているが、都会に暮らす子どもたちは、身近に自然と接する機会が少ない。このままでは地球環境を守る以前に、自然の大切さを感じる、知ることができず、地球（自然）を守ろうとする態度が身につかないと考えたため、畑・自然体験、収穫物からの加工体験（食育）等の活動が必要と考えた。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

#### (1) 梅仕事ワークショップ 6/4 参加者 20名

和光市内の梅の収穫とその梅を使ったシロップ作りを体験。多くの子どもたちが参加する人気講座となった。地産地消の良さを感じるイベントだった。



#### (2) 竹を使ってワークショップ 10/14 参加者 15名

畑近くに自生している竹を利用し、コップや箸を作成、竹でご飯を炊くワークショップを開催。竹の筒を加工。竹を割る体験はスパッと切れて「気持ちいい！」と声が上がった。竹の筒でご飯も炊けて、「被災したら、畑にいれば生きていけるね」などの声も聞かれた。大人も学び多い大変有意義な講座となった。



#### (3) 芋掘り体験会 11/23 参加者 10名

今回は、芋が小さく不作でしたが、参加の皆さんには楽しんでいただけた。「芋よりもダンゴムシ！」と虫に興味を持つ子どももいて、自然に触れ合えた体験だった。

#### (4) 漬物ワークショップ 1/22 7名

畑で収穫した無農薬の大根やキャベツ、白菜を使用したオーガニック漬物ワークショップ。「こんな漬物初めて」「沢山作れて嬉しい」など喜びの声が沢山溢れた。



### 3. 活動の成果

①自然体験では、竹を使うことで、食事の容器、燃料、ご飯が炊けるなど、食事ができる（生きていくことができる）ということを体験することができ、自然の偉大さ、大切さを実感することができた。また、芋掘りでは、土を一生懸命に掘り、芋を見つける嬉しさや喜びを感じる宝探しのような体験ができた。

②地産地消の梅の収穫や、採れた野菜で作る漬物作りを体験。健康な野菜のおいしさも体験。五感で感じるすることができた。

### 4. 今後に残された課題

芋掘りは毎年人気のイベントではあるが、コロナの終息とともにイベントへの参加の希望者が少し減少した。参加者にとって魅力的な企画をする必要があると感じている。